

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位: 百万円)

団体名 あきる野市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模(※) D
12,527	2,045	731	15,209

1. 一般会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	24,165	23,855	311	311	419	25,311	
受託水道事業特別会計	937	937	0	0	-	-	
一般会計等	25,091	24,780	311	311	-	25,311	

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位: 百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計 繰入金見込額	備考
国民健康保険事業特別会計	8,031	7,883	148	148	795	-	-	
老人保健医療事業特別会計	4,366	4,338	28	28	345	-	-	
介護保険事業特別会計	3,893	3,830	63	63	603	51	-	
下水道事業特別会計	3,338	3,284	54	54	1,022	27,083	15,844	
公営企業会計等計				293		27,134	15,844	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入金見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位: 百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計 等負担見込額	備考
東京都後期高齢者医療広域連合	3,426	3,326	100	100	-	-	-	
阿伎留病院組合	4,747	6,339	△ 1,592	929	-	14,600	7,300	法適用
秋川衛生組合	263	255	8	8	-	71	44	
西秋川衛生組合	1,125	1,071	54	54	77	531	394	
秋川流域斎場組合	190	168	22	22	-	426	310	
東京市町村総合事務組合(一般会計)	1,116	1,049	68	68	29	-	-	
東京市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)	559	434	125	125	100	-	-	
東京都市町村職員退職手当組合	10,349	9,988	361	361	3,003	-	-	
東京都市町村議会議員公務災害補償等組合	6	4	2	2	-	-	-	
東京都三市収益事業組合	11,553	11,109	444	444	384	-	-	
一部事務組合等計				2,113		15,628	8,047	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位: 百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
あきる野市土地開発公社	2	13	5	149	-	7,463	-	-	
㈱秋川総合開発公社	10	102	55	-	-	-	33	3	
新四季創造(株)	5	21	10	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等計			70	149	-	7,463	33	3	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄に当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位: 百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		645	
減債基金		389	
その他充当可能基金		518	
充当可能基金計		1,552	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	2.99	2.04	△ 0.95	△ 12.76	△ 20.00	下水道事業特別会計		5.2	
連結実質赤字比率		3.97		△ 17.76	△ 40.00				
実質公債費比率	13.6	9.5	△ 4.1	25.0	35.0				
将来負担比率		140.6		350.0					
財政力指数	0.81	0.83	0.02						
経常収支比率	98.7	102.1	3.4						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。

※ 標準財政規模については、健全化判断比率の算定に用いた数値を記載している。